

緑のセンター出前授業「たまねぎの皮を使った草木染」実施概要

実施校：呉服小学校 4年生1組、2組、3組の3クラス

授業実施日：2023年8月31日（木曜日）

2時間目、3時間目、4時間目（9時40分～12時25分）

講師：池田市緑のセンター

作業補助＊NPO 法人いけだエコスタッフ

単元：小学4年生 総合的な学習の時間 SDGs 学習

授業の概要：「草木染め」は、植物に含まれている自然の色を抽出し、糸や布を染めることです。草木の種類や、同じ植物でも季節や染め方を変えることにより多彩な色に染めることができます。

授業では、ふだん捨ててしまう「たまねぎの皮」を使って、白い布を染めました。

授業のながれ：

流れ	内容
事前準備	染める白い布を、輪ゴムやペットボトルの蓋を利用してしばります。
講師自己紹介 草木染作業の説明	①講師、スタッフの紹介。
草木染の作業	①用意した白い布を、みょうばんにつける ②煮だし用の袋に、たまねぎの皮を詰める。80g=40g×2 ③鍋に半分の水とたまねぎの皮を入れ、煮だします。 煮立ってから、弱火で10分に煮だします。 ⇒鍋を乱している間に、綿から作る糸、布のお話を聞きます。 1年生の時に習った「たぬきの糸車」を思い出します。 ④たまねぎの皮を取り出します。 ⇒透明だった水が、茶色く変化しました。 ⑤ミョウバンに漬けていた、白い布をひとつずつ取り出しおにぎりの様に両手で絞り水気を取り、ゆっくりと煮だした鍋に入れていきます。 ⑥白い布をすべて入れ終わったら、もう一度鍋を沸騰させに出します。 沸騰したら、弱火で5分煮だして今日の作業は終了です。
完成までの工程、注意事項、	①鍋に入った布を別の容器に移し付けたまま1日冷まします。 ②結んでいた輪ゴムやペットボトルの蓋を外し、水洗いをしてほして干します。 ③乾燥すれば完成です。 布の色や、輪ゴムで結んでいた所がどのような柄になっているか楽しみです。 ④完成した布は、6年生が家庭科の授業で巾着にする予定です。 4年生と6年生の共同作業です。

【授業のようす】



【授業の翌日に干して乾かしました】



【参考】

たぬきの糸車 あらすじ

山おくに すむ きこりの ふうふの ところに まいばんのように いたずらを しに やってくる たぬきが いました。

おかみさんが 糸車を まわして 糸をつむいで いると、のぞいて いた たぬきが まねを するので、おかみさんは「いたずらもんだが、かわいいな。」と おもって いました。

ある ばん、たぬきは きこりが しかけて いた わなに かかりました。かわいそうに おもった おかみさんは たぬきを にがしました。

ふゆの あいだ 村へ 下りて いた ふうふが、はるになって こやに もどると、そこには 白い 糸の たばが 山のように つんで ありました。

いつかの たぬきが 糸をつむいで いたのです。

おかみさんに きがつくと、たぬきは うれしそうに おどりながら かえって きました。

<https://kyoukasyo.com/primary-school/spinning-wheel-of-raccoon/>より引用



以上